

# 花巻市 博物館

目次／P1 特別展「光ミュージアム所蔵 美を競う 肉筆浮世絵の世界」開催／P2-3 展示のご案内・講座・ワークショップメニュー／P4-5 テーマ展「花巻の煌めく人と物」／P6 博学連携活動レポート／P7 館長コラム・行事予定・インフォメーション／P8 花博コレクション



## だより

2020. 4  
No. 60

### 特別展 光ミュージアム所蔵 美を競う 肉筆浮世絵の世界

肉筆浮世絵とは、浮世絵師の自筆により描かれたもので、木版で量産される多色摺木版画の錦絵と違い、唯一無二の一点ものです。肉筆浮世絵に見る浮世絵師の確かな画力がなければ、浮世絵が江戸時代の人々に愛されることはなかったといっても過言ではないでしょう。

令和2年度の花巻市博物館の特別展では、この肉筆浮世絵の芸術性とその華麗な世界をご紹介します。展示を、7月18日（土）から8月30日（日）まで開催します。数多くの肉筆浮世絵を所蔵する光ミュージアム（岐阜県高山市）の一大コレクションの中から、厳選された111点もの肉筆浮世絵を一堂に公開します。江戸で人気を博した浮世絵師、京・大坂など上方で活躍した絵師、現存する作品が少ない絵師など、様々な肉筆浮世絵を展示し、江戸時代中期（17世紀）から明治時代（19世紀）に至る浮世絵の流れを概観することのできる展示となります。



宮川長春 「立ち美人（部分）」光ミュージアム所蔵

# 令和2年度 展示のご案内

## ●テーマ展「花巻人形—収蔵資料撰—」

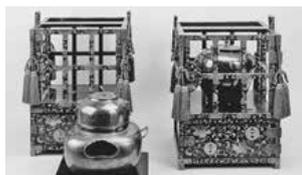
期間：開催中～5月6日（水・振）

素朴で愛らしい花巻人形を紹介します。

## ●テーマ展「花巻の煌めく人と物」

期間：5月23日（土）～6月21日（日）

博物館所蔵の花巻にゆかりある人々が残した「お宝」を通し、花巻の歴史や人物を紹介します。



桐唐草向鶴紋散蒔絵茶弁当

### ★関連事業

- ・5月30日（土）、6月6日（土）バックヤードツアー
- ・6月13日（土）ギャラリートーク

## ●特別展「光ミュージアム所蔵

美を競う 肉筆浮世絵の世界」

期間：7月18日（土）～8月30日（日）

江戸中期から明治までの人気絵師たちが描いた優美で濃密な一点ものの肉筆画。彫師、摺師の手を経て大量制作された煌びやかな多色摺木版画の錦絵とはまた違った、しみじみと味わい深い絵画の魅力を紹介しします。



歌川豊春  
「遊女と禿（部分）」  
光ミュージアム所蔵

### ★関連事業 記念講演会、ギャラリートーク等

## ●テーマ展「鉄道と花巻—近代のクロスロード—」

期間：9月19日（土）～11月23日（月・祝）

明治23年（1890）、上野盛岡間に鉄道が開通し花巻駅が開業。これを契機に活気づいた鉄道事業に焦点をあて、交通拠点として発展した花巻の近代鉄道史を紐解きます。



写真 岩手軽便鉄道  
一部開業土澤駅

### ★関連事業 ギャラリートーク等

## ●共同企画展 ぐるっと花巻・再発見！

「小野寺周徳—花巻画人の先駆的存在—」

期間：12月5日（土）～翌1月31日（日）

花巻城出入りの医師の子として生まれた小野寺周徳。花巻地方の画人の中でも、先駆者的存在だった周徳の魅力に迫ります。



### ★関連事業

- ・1月16日（土）学芸員講座

小野寺周徳筆 「牡丹に白鷺図」

## ●企画展「近世近代東北災害一件綴」

期間：2月13日（土）～5月9日（日）

東日本大震災から、令和3年3月11日で10年が経過します。この節目の年に、東北の災害史に着目し、災害と復興についての理解を深めます。



明治三陸津波の被害報告

- ### ★関連事業
- ・3月11日（木）追悼イベント
  - ・3月13日（土）フォーラム
  - ・3月27日（土）学芸員講座
- そのほか、ギャラリートーク等

## ●テーマ展「花巻人形」

期間：2月13日（土）～5月9日（日）

館が誇る500種3,000点以上にも及ぶ花巻人形。素朴でありながらも、優雅さを併せ持つ花巻人形の奥深い魅力を紹介します。



花巻人形「牛乗り童子」

### ★関連事業

- ・3月28日（日）花巻人形絵付け体験

そのほか、ギャラリートーク等

※内容に変更がある場合があります。あらかじめご了承ください。



## 令和2年度 講座・ワークショップメニュー



博物館では、花巻の歴史や文化をより詳しく、そして楽しく学んでもらうために、講座や体験学習を行っています。令和2年度も様々なメニューを用意しましたので、ぜひご参加ください。

## 《講座》

### ●館長講座

- 第1回 6月20日(土)「花巻城と城下町」  
第2回 10月3日(土)「花巻の美術・工芸」  
第3回 2月20日(土)「花巻人形」

★聴講無料、申込不要

### ●学芸員講座

- 第1回 6月14日(日)「斎藤宗次郎 - 収蔵資料について」  
第2回 1月16日(土)「画人・小野寺周徳」  
第3回 3月27日(土)「東北の災害史」

★聴講無料、申込不要

### ●古文書講座「はじめての古文書」

- 第1回 9月27日(日)  
第2回 10月4日(日)  
第3回 10月18日(日)  
第4回 11月1日(日)  
第5回 11月15日(日)

★参加無料、要申込、定員20名

### ●郷土資料勉強会

郷土の歴史について学芸員とともに学ぶ勉強会を毎月1回程度、土日に開催します。

★参加無料、要申込

## 《ワークショップ》

### ●勾玉づくり

- 日にち：①5月3日(日・祝)  
②8月8日(土)

内容：滑石を削って、磨いて、古代のアクセサリー「勾玉」をつくります。

材料費：340円

定員：20名



### ●縄文弓矢・火起こし体験

- 日にち：5月5日(火・祝)

内容：弓矢を使った的当てと、木を使った火起こしに挑戦します。

参加費：無料

定員：20名



### ●琥珀玉づくり

- 日にち：5月4日(月・祝)

内容：琥珀を削って、磨いて、古代のアクセサリー「琥珀玉」をつくります。

材料費：810円

定員：20名



### ●花巻人形絵付け体験

- 日にち：①8月2日(日)  
②3月28日(日)

内容：平賀工芸社の平賀恵美子さんを講師に迎え、花巻人形の絵付けを体験します。

参加費：1,600円～

定員：20名



※講座・ワークショップの場所は博物館講座体験学習室、時間は13時30分～15時までを予定しています。

※講座・ワークショップともに内容に変更がある場合があります。あらかじめご了承ください。

令和2年度  
テーマ展

# 花巻の煌めく人と物

期間：令和2年5月23日（土）～6月21日（日）

輝かしい功績に対して贈られる勲章、金や美しい宝石で彩られた異国の仏像、よく研ぎ澄まされて鏡のように輝く刀身など、博物館には人々の目を楽しませてくれる多くの「お宝」が収蔵されています。それらは、過去の歴史を今に伝える貴重な資料であり、美術品としても高い価値を持っているものばかりです。

本展覧会では、当館に所蔵されている資料から、眩いほどの輝きを放つ「お宝」を通して、花巻の歴史においてキラリと輝く人物や歴史について紹介します。

## ■一、南部家の至宝

花巻は、1591年（天正19）に初代盛岡藩主南部信直の所領となり、北信愛（のちの松齋）・南部政直の両名によって花巻城や花巻の町が整備されました。



〔黒漆地向鶴紋散唐草蒔絵御乗物〕

当館には、花巻開町の礎を築いた盛岡南部家に関する「お宝」が多数所蔵されています。そのなかでも、豪華な作りで目を引くのが「黒漆地向鶴紋散唐草蒔絵御乗物」です。表には黒漆地に唐草と向鶴紋が金蒔絵で描かれ、内部には洛中図が描かれています。

その他、贅を尽くした調度品や武具などの、南部家にまつわる豪華絢爛な「お宝」をお楽しみください。

## ■二、盛岡藩の刀・刀装具

日本を代表する美術品として、国内外から注目を集めている日本刀ですが、刀身をはじめとして、鐔や目貫といった刀装具にまでも職人の技が輝いています。

本展覧会では、盛岡藩のお抱え刀鍛冶・宮川秀一<sup>みやかわひでかず</sup>の刀剣や、花巻との縁もある梅忠就栄<sup>うめただしゆうえい</sup>の鐔などを紹介します。



〔刀 銘 宮川秀一作〕

写真の刀は、轟木村（現在の花巻市笹間）に住んでいた宮川秀一が造ったものです。秀一は、刀鍛冶としての修業を江戸で行い、帰ってくるとその腕を見込まれて、盛岡藩に仕えることになりました。江戸時代末期には、武庫刀と呼ばれる、藩の武器蔵に納めるための刀剣を数多く制作しています。この刀は刀身に「武庫」の文字と「違い菱」が彫られた、いわゆる「武庫刀」と呼ばれているものです。



〔「違い菱」と「武庫」〕

■三、栄誉の証

眩いほどの輝きを放つ「お宝」のひとつとして、大きな功績や業績を讃えるために贈られた勲章類を紹介します。

下の勲章は花巻川口町出身で海軍の軍人だった佐藤皐蔵さとうこうぞうに対して贈られたものです。

第一次世界大戦中、当時同盟を結んでいたイギリスが、ドイツ軍の潜水艦からの船団護衛を日本に要請しました。その際、地中海横断航路の司令官として、当時海軍少将だった皐蔵が派遣されました。

地中海特有の荒波などで任務は困難を極めました。1年半の任務の間に、連合軍の多くの艦船と乗客を護衛しました。

この功績が高く評価され、イギリスをはじめとして連合国の各国から数々の勲章が授与されました。



〔英国勲章〕

この他にも、ホームスピンの生産や研究で知られる及川全三おいかわぜんぞうや台焼の創始者である杉村勘兵衛すぎむらかんべえに贈られた勲章などを展示します。

■四、光り輝く異国の仏

花巻を代表する先人の一人に、チベット仏教研究の先駆者である多田等観ただとうかんがいます。

本展覧会では、等観がチベットより持ち帰った品々の中から、金や宝石で彩られた、美しい仏像や

経典などを紹介します。



〔文殊菩薩坐像〕

文殊菩薩坐像は、等観がチベットより帰国する際に、タシルンポ寺の法主バンチェン・ラマから下賜されたものです。宝冠の周囲や腕の装飾にはトルコ石があしらわれています。

チベット国内では、仏像を造るような木材を産出することが難しいため、こうした煌びやかな金剛仏が多く見られます。

（学芸調査員 松橋香澄）

■関連事業

▽バックヤードツアー

日時：5月30日（土）13時30分～  
6月6日（土）13時30分～

場所：収蔵庫など

定員：各10名程度

〈要申込・要入館料〉

▽ギャラリートーク

日時：6月13日（土）13時30分～

場所：企画展示室

〈申込不要・要入館料〉

今年度も花巻市内の多くの小・中学校に花巻市博物館を利用していただきました。その利用状況についてお知らせします。

### 1 市内小・中学校による花巻市博物館展示見学利用状況

小学校				小計	中学校	小計	合計
3年生	4年生	5年生	6年生				
3校	0校	1校	5校	9校	2校	2校	11校



テーマ展見学の中学生

### 2 出前授業のプログラムとその利用回数

プログラム名	小学校利用校数	中学校利用回数
縄文時代の暮らし	6年生 1校	0校
花巻電鉄 ～沿線を中心に～	0校	0校
戦国時代の武具	5年生 1校	0校
戦争と花巻空襲	6年生 5校	全校 1校 3年生 1校
昔の道具と暮らし	3年生 15校	0校
多田等観	6年生 1校	0校



出前授業「縄文時代の暮らし」

出前授業プログラム「花巻電鉄～沿線を中心に～」は、今年度利用がありませんでしたが、来年度は小学校3年生の教科書が変わり、花巻市内の鉄道や道路、空港の変化についても学習することになっていますので、利用が期待されるプログラムです。また、中学校の社会科の学習指導領「2内容 歴史との対話（2）身近な地域の歴史」の学習の参考にもなりますので、是非、活用していただきたいです。

### 3 中学校の職場体験

利用申し込みが3校から有りましたが、1校は博物館実習と体験日が重なってしまい受け入れができませんでした。また、1校は受け入れを承諾しましたが、体験を希望する生徒がなく、結局、1校3名の受け入れとなりました。

### 4 市内小・中学校の出前体験・学年PTA行事での体験学習利用

市内小・中学校の出前体験利用 小学校 1校（特別支援学級 勾玉作り体験）  
 学年PTA行事での体験学習利用 小学校 1校（展示見学、バックヤード見学、火起こし体験）

### 5 市内小・中学校の利用学校数（何らかの内容で利用のあった学校数）

小学校は、19校中 18校の利用がありました。  
 中学校は、11校中 4校の利用がありました。

# 館長 コラム

## 花巻人形の創始

2019年7月『日本人形玩具大辞典』（日本人形玩具学会編東京堂出版）が刊行された。花巻人形の項に「鍛冶町の古舘伊之助が若柳で奉公の後、仙台の堤町で人形作りを伝授され、天明年間（1781～89）の初め頃に花巻人形を創始した。」と記されている。

花巻人形の創始について、昭和の初め頃より享保年間（1716～35）に鍛冶町の太田善四郎とする説が出され、『図録岩手の民俗・民芸双書2花巻人形』（熊谷章一・吉田義昭編郷土文化研究会昭和50年）の中で太田家の系譜が明らかにされることによってこの説が定着した。また、『全国郷土人形図鑑』（足立孔著光芸出版、昭和57年）には、「太田善四郎によって、明和、安永（1764～81）の頃創められたものです。」とある。

花巻市博物館では、開館当初の2004年より花巻人形の収集と研究に取り組んでいる。初期の研究で大きな課題となっていたのが、花巻人形の創始に関わるものであった。

研究の成果として天明年間に古舘伊之助によって創始されたことが明らかになった。成果の背景には、二つの大きな要因がある。

一つは、関係資料の収集で新たな文書（古舘家文書）が発見され、花巻人形の創始について記されていたことである。もう一つは、花巻人形が盛んに作られた文化・文政頃から明治時代初期にかけては、古舘家や太田家はじめ数軒の家で人形が作られていたが、内裏雛の分類によって各家の内裏雛が特定できたことにある。従来から指摘されてきた花巻人形の中で最も古い型とされてきた天明二年銘の女雛と天明四年銘の男雛は、いずれも古舘家で制作されたものであることが分かった。古舘家文書の記述を人形の型の分類によって証明することが出来た。また、関連記事を精査することにより太田善四郎が創始とされてきた経緯についても検証することが出来、新たな説を補強することとなった。

今回『日本人形玩具大辞典』に花巻人形の創始が、天明年間に古舘伊之助によって創められことが掲載されたことは、当館における研究の成果が、学会によって認知されたことになる。

（館長 高橋信雄）

### 行事予定

2020年7月  
2020年4月

#### 企画展示室

●テーマ展「花巻人形展 - 収蔵資料撰 -」

会期：5月6日（水・振）まで

●テーマ展「花巻の煌めく人と物」

会期：5月23日（土）～6月21日（日）

《関連事業》

5月30日（土）バックヤードツアー①

6月6日（土）バックヤードツアー②

6月13日（土）ギャラリートーク

●特別展「光ミュージアム所蔵

美を競う 肉筆浮世絵の世界」

会期：7月18日（土）～8月30日（日）

《関連事業》

◇記念講演会、ギャラリートーク等予定

#### 講座・ワークショップ

【講座】

6月14日（日）学芸員講座①

「斎藤宗次郎—収蔵資料について」

6月20日（土）館長講座①「花巻城と城下町」

【ワークショップ】

5月3日（日・祝）勾玉づくり

5月4日（月・祝）琥珀玉づくり

5月5日（火・祝）縄文弓矢・火起こし

※場所は講座体験学習室、時間は13時30分～15時を予定しています。

※内容に変更がある場合があります。あらかじめご了承ください。

\* 無料公開日 \*

4月24日（金）開館記念日

5月23日（土）国際博物館の日

## 花巻市博物館

〒025-0014 岩手県花巻市高松 26-8-1

電話：0198-32-1030 FAX：0198-32-1050

開館時間：午前8時30分から午後4時30分まで

休館日：12月28日から1月1日まで

入館料	小学生・中学生	150(100)円
	高校生・学生	250(200)円
	一般	350(300)円

※（ ）内は20名以上の団体割引料金

※割安な近隣4館共通券もあります。

※特別展示を行う場合、入館料を定める場合があります。

#### 交通案内

- 東北新幹線  
新花巻駅より車で3分
- 東北本線  
花巻駅より車で約15分
- 金石自動車道  
花巻空港I.C.より車で約5分
- バス  
新花巻駅より約5分  
岩手県交通 土沢線  
イトーヨーカドー行  
賢治記念館口下車



◇ URL <http://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/501/hanamakisihakubutukan/>

# 花◊博 コレクション

Hanahaku collection



『愛子図』 32.7 × 25.6cm



←『愛子図』の基  
になったと考  
えられる写真



『花図』 23.1 × 30.8cm

## 中村不折「愛子図」「花図」

「愛子図」と「花図」は、夏目漱石『吾輩は猫である』の挿絵を担当したことでも知られる画家の中村不折（1866-1943）によって描かれました。この2つの作品に共通するワードは“愛子”です。

愛子は、不折とも交流のあった花巻の先人・斎藤宗次郎（1877-1968）と妻スエの長女として明治34年（1901）に誕生しました。キリスト教徒一家の中で大切に育てられた愛子でしたが、明治42年（1909）に8歳という幼さで亡くなっています。「愛子図」と「花図」は、愛子の早すぎる死を悼み、愛娘を失った宗次郎を慰めるために、不折が贈ったものです。

「花図」は「謹吊愛子嬢長逝（謹んで愛子嬢の長逝を弔う）」という弔文とともに寒椿の花が描かれており、愛子の逝去から間もなく贈られたとみられます。対して「愛子図」は、愛子の死の数年後に贈られたことがわかっています。この絵は生前の愛子の写真を模写したもので、どこか憂いをおびたような寂しげな愛子の表情が印象的な作品です。宗次郎は、自身の日記の中でこの絵を贈られた感想について「顔は似ざれども様子は酷似せり。兔に角予は大いに喜べり」と記しています。

（学芸員 小田島智恵）